

第七十六回
帝國議會
貴族院

蠶絲業統制法案特別委員會議事速記録第一號

付託議案
蠶絲業統制法案(政)

委員氏名

委員長 子爵八條 隆正君
副委員長 男爵稻田 昌植君
公爵鷹司 信輔君
侯爵四條 隆德君
伯爵酒井 忠正君
子爵米津 政賢君
子爵柳澤 光治君
有吉 忠一君
横山 助成君
男爵三須 精一君
男爵肝付 兼英君
今井 五介君
瀧川 儀作君
野村 德七君
吉村友之進君
大澤德太郎君
片倉兼太郎君
大西虎之介君

昭和十六年二月二十二日(土曜日)午前十時十五分開會

○委員長(子爵八條隆正君) ソレデハ是ヨリ蠶絲業統制法案特別委員會ヲ開會致シマス、先ツ農林大臣ヨリ法案ノ御説明ヲ願フコトニ致シマス

○國務大臣(石黒忠篤君) 蠶絲業統制法案ノ提出理由ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ大體ノ趣旨ヲ申述ベタノデゴザイマスルガ、茲ニ本案ノ主タル内容ヲ舉ゲマシテ一應御説明ヲ申上ゲマス、本法案ノ主タル内容ノ

第一ハ、蠶絲類生産計畫ヲ設定デゴザイマス、從來蠶絲業ハ輸出向生絲ノ生産ヲ目標ト致シマシテ、之ニ偏シテ居リマスルヤウナ感ガアルノデアリマスガ、今後ノ輸出向生絲ハ、實際輸出ニ必要ト認ムル一定量ヲ目標ト致シマス共ニ、國內生絲ハ實用絹製品ノ方面ニ用途ヲ擴大致シマシテ、又繭ノ相當數量ヲ短纖維ト致シマシテ處理致シマシテ、羊毛、綿ト共ニ使用セシメタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、斯クノ如ク國內消費ノ充實ニ重點ヲ置キマシテ、政府ニ於テハ今後内外ノ情勢ノ變化ニ對應致シマシテ、ソレニ即シマシタル蠶絲類ノ用途別、生産計畫ヲ樹立致シマシテ、ソレニ基イテ生産ノ割當制ノ實施ヲ致シ、場合ニ依リマシテハ繭纖維ノ使用等ニ關シマシテモ必要ナル措置ヲ講ズルコトト致シマシテ、蠶絲ノ生産計畫ヲ達成ヲ圖ツテ參ル積リデ居ルノデゴザイマス、第二ハ日本蠶絲統制株式會社ノ設立デゴザイマス、蠶絲類計畫生産ヲ確實ニ實施致シマスル共ニ、從來ノヤウナ價格ノ不安定ヲナカラシメ、更ニ今後或ハ起リハ致サムカトモ危惧致サレテ居リマスル場合ニ備ヘマシテ、蠶絲業ヲ眞ニ安定セシムル爲ニハ、鞏固ナル綜合的統制ノ機構ガ必要ナルノデゴザイマス、是ガ爲ニ政府ノ半額出資ニ依リマスル日本蠶絲統制株式會社ト云フモノヲ設立致シマシテ、原則トシテ蠶種、繭及ビ生絲ノ一手買入及ビ賣渡ヲ行ハシメムトスルモノデアリマス、之ニ依リマシテ養蠶者、製絲業者等ノ生産者ニ對シマシテハ、中庸生産費ヲ基

礎ト致シマス價格ニ安定セシメマス共ニ、其ノ配給ニ當リマシテハ業者間ノ公平ヲ期シマシテ、又消費計畫ニ即シテ必要ナル方面ニ對シマスル供給ヲ確保致スト云フコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、第三點ハ、蠶絲類ノ價格ノコトデゴザイマス、從來ハ專ラ輸出向生絲ノ絲價ガ基準トナツテ居ル關係上、相場ノ變動常ナキ狀態デアッタノデアリマスガ、今後ハ日本蠶絲統制株式會社ガ其ノ配給ヲ管理致スニ當リマシテ、其ノ買取價格ハ主トシテ生産費ヲ基準トシテ、品位ニ依リ之ヲ定ムルコトト致シマシテ、賣渡價格ハ品位又ハ用途ニ應ジテ之ヲ定メマス同時ニ、中間取扱業者ノ賣買モ概ネ一定ノ手数料主義ニ依ラシムルコトト致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、第四點ハ、蠶絲類ノ検査ニ關スル事項デゴザイマス、從來ノ検査制度ヲ擴充致シマシテ、原則トシテ繭及生絲ノ總テノ取引ヲ檢定又ハ検査ノ成績ニ依ラシムルコトト致スノデアリマス、第五點ハ、桑園ニ關スル施設デアリマシテ、桑園ニ付キマシテハ、養蠶經營ノ基礎デアアルノミナラズ、農業生産ノ全體ノ見地カラ致シマシテモ、桑園面積及配置ノ適正化ヲ圖ツテ參リマスルコトガ必要デアルト考ヘマスルノデ、今後其ノ新設擴張ト云フヤウナコトニ對シマシテハ、許可ニ依ラシムルヤウニ致シタイト存ジテ居ルノデアリマス、第六ハ、蠶絲委員會ノ設置デアリマス、政府ガ蠶絲類ノ生産計畫、價格等、蠶絲業統制ニ關シマシテ、非常ニ

重大ナ事項ヲ多ク行フノデアリマスルノデ、是等ヲ定メマスルニ付キマシテハ、各方面ノ權威者及關係官廳當局者等ヲ以チマシテ蠶絲委員會ヲ設置ヲ致シテ、之ニ諮問ヲ致シマシテ、制度ノ運用上遺憾ナキコトヲ期シタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス第七點ハ、特別會計法ノ資金ノ充實デゴザイマス、政府ハ絲價安定措置ノ萬全ヲ期シマスル爲ニ、此ノ際政府ノ生絲操作資金ヲ増額致シマシテ、絲價安定施設特別會計法ノ資金七千萬圓ヲ二億五千萬圓ニ増額スルコトト致シマシタルノデアリマス、以上述べマシタ所ノ機構ヲ整備致シマシテ、從來屢、激變ヲ繰返シテ參リマシタ我が國蠶絲業ノ再編成ヲ致シマシテ、安定シタル價格ト適切ナル計畫ノ下ニ、蠶絲業關係ノ生産者ヲシテ、安ンジテ其ノ業ニ就カシムル共ニ、新タニ相當數量ノ繭ヲ短纖維トシテ利用スル方途ヲ確立致シマシテ、國民生活ニ必要ナル實用の纖維ノ供給ヲ圖リマシテ、以テ農村經濟ノ最モ重要部面デアリマスル所ノ蠶絲業ヲシテ永遠ニ安固ナル基礎ノ上ニ立タシムルヤウニ努メタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、以上ガ大體本案ノ骨子トスル所デゴザイマス、何卒十分御審議ノ上ニ御可決戴カムコトヲ希望致ス次第デアリマス、尙衆議院ニ於キマシテハ提案ノ第二十九條ノ第四項ト致シマシテ、蠶絲業ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ガ日本蠶絲統制株式會社ノ役員等ニ就クコトニ關シテ修正ガゴザイマシタ、政府ト致シマシテハ、若シ本院

ニ於カレマシテ同様修正ノ御意見デゴザイマスルナラバ、之ニ同意ヲ致シタイト存ズルノデゴザイマス、右大體ノ御説明ヲ申上デマシタ

○委員長(子爵八條隆正君) 法案ノ審議ニ入リマス前ニ、蠶絲業、蠶絲政策一般ニ付テ御質問ガアリマスレバ、此ノ際願ツタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○野村徳七君 只今御説明ニナリマシタ主要目的ノ中ニ、桑園ノ整理ト云フコトガアリマシタガ、衆議院ニ於ケル質問應答カラ拜見シマス、此ノ桑園整理ノ目的ハ、繭生産ノ調節ニ重點ガ置カレテ居ルノデアリマスカ、或ハ食糧政策ト云フコトニ重點ガ置カレテ居ルノデアリマスルノカ、只今伺ヒマス繭生産調節ニ重キヲ置カレテ居ルヤウニ拜聴シタノデアリマス、ソレカラ桑園整理ト云フコトニナリマシタ場合ニ、ドウ云フ方法ヲ以テ整理サレルト云フノデアアルカ、餘程ハ全國的ニ公平ニヤルト云フコトデナケレバイカヌシ、又立派ナ桑園ヲ割合ニ依ッテ整理シテ、不良ナ桑園ヲ現狀ニ置クト云フヤウナコトデハ、目的ガ達セラレナイヤウニ思フノデアリマス、又速記録カラ拜見シマス云フト、桑園ハ整理スルガ併シ必ズシモ此ノ桑園整理ニ依ッテ繭ハ減ラナイ、所謂繭ノ改良増産獎勵ニ依ッテ、必ズシモ減産ヲシナイト云フヤウナ、斯ウ云フ政府委員ノ御説明デアッタカ或ハ御答辯デアッタカラ速記録デ拜見シタノデアリマスガ、スルト重點ハソコニ置カレテモ、一方カラ結果トシテハ必ズシモ是ダケノ桑園整理ニ依ッテ、此ノ速記録ニ現レテ居リマスル桑園整理ニ依ッテ、必ズシモ繭ノ調節ガ出來ルトモ解シ得ラレナイノデアリマスガ、

一應ハッキリト其ノ點ガ出來レバ御話願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石黒忠篤君) 桑園整理ノ點ニ關シマシテ、只今野村サシノ御質問デアリマスガ、桑園ノ中ニ、極メテ桑葉ノ收穫量ノ多イ良イ桑園ト、比較的荒廢ヲ致シマシタ桑園ガアリマスコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、何シロ多年收穫シ得ル作物デアリマスル爲ニ、年ガ經ツテモ全ク收穫ガナイト云フノデナイ爲ニ、随分中ニハ古クナッテ收穫ノ少クナッテ居ルヤウナ桑園ガアルノデアリマス、ソレ等ハ平時ニ於キマシテモ桑園ノ整理ト云フコトヲ行クベキ部分ガ相當アルト考ヘルノデアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ特ニサウ云フ整理ト云フコトニ付テ考ヘテ居リマスルノハ、サウ云フ場所ヲ主トシテ考ヘテ居リマスガ、場所トシテハサウ云フ所ニナルノデアリマスルガ、整理ノ目的ノ此ノ際ニ於ケル大ナル目的ハ、食糧生産ノ方面ニ轉換ヲスルト云フコトノ必要上カラノガ多イノデアリマス、ソレ等ノ見地カラ致シマシテ、又先程私が要點ノ説明ニ申上デマシタヤウニ、農業全般ノ見地カラ致シマシテ、桑園ノ配置ノ適正化ヲ圖ル、少シ言葉ガ過ギテ居ルカモ知レマセヌガ、處ニ依リマシテハ農村デアリマシテ日々食用ニ致シマス……食ベマス蔬菜ノ漬物ノヤウナモノ迄モ、寧ロ大都會カラ買ッテ居ルト云ツタヤウナ地方ガアルノデアリマス、サウ云フヤウナ所ハ無論桑園ノ間ニ間作スルト云ツタヤウナコトモゴザイマスガ、可ナリ食糧生産ニハ轉換ヲ致シテ行ッテ宜イモノモアル、ドウシテモ養蠶ト云フコトハ農家ノ仕事デアリマシテ、其ノ農家ガ只今ノヤウナ時ニ食糧ヲ外カラ買ッテ居ルト云フヤウナ

コトハ、出來ルダケ自給ヲ勸メナケレバイカスト斯ウ考ヘマスノデ、ソレ等ノ點カラ考ヘマシテ、此ノ度ノ桑園ノ整理轉換ト云フコトヲ主トシテ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙繭ノ生産ニ關聯致シマシテ詳細ナコトハ、政府委員蠶絲局長カラ申上デマス

○政府委員(吉田清二君) 桑園ノ整理ノ趣旨ニ付キマシテハ大臣カラ申サレノデアリマスルガ、整理ヲ致シマシテ繭ノ生産ニハ格別變化ガナラウト云ツタヤウナ事柄ニ付キマシテハ、大體繭餘ノ面積ニ於キマシテ非常ニ桑ノ使ヒ方ヲ、マア儉約シテ使フト申シマスカ、ソレカラ養蠶ノ飼育等ニ付キマシテハ、非常ニ注意ヲシテ飼育參ルト云フヤウナコトニ致シマシテ、此ノ飼育、ソレカラ桑園ノ肥培管理等ニ十分力ヲ入レマシテ致シマスルナラバ、多少桑園ノ面積ガ減リマシテモ、繭ノ生産量ニハ格別減少ヲ來スト云フヤウナコトナシテ行ケルガラウト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、無論一時的ニハ多少減ルト云フヤウナコトガアリマシテモ、面積ノ縮小ニ因リマシテ繭ノ生産額ニ減少ヲ來スト云フコトナシニ行ケルト、斯様ニ見テ居ルノデアリマシテ、且又此ノ繭ノ生産額ノ減リマセヌコトニ付キマシテ、見方ガアルノデアリマス、寧ロ此ノ際價格等ノ關係カラ減ジタ方ガ宜イト云フヤウナ見方モアルノデアリマスガ、今日纖維ガ非常ニ不足致シテ居リマスルノデ、此ノ際ハ、色々ト實用向ノ方面ニ此ノ纖維ヲ向ケルト云フコトヲ考ヘテ參リマスルナラバ、纖維自體トシテハ減シタクナイト、斯ウ云フヤウナ私共トシテハ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、蠶絲ノ政策ト致シマシテハ、

所謂桑園ト食糧トノ關係カラ見テ、面積ヲ縮小致シ、繭餘ノ面積ニ於テ極力纖維ノ生産量ニ於テハ現狀ヲ維持シテ行キタイト、斯様ナ考ヘ方デ居ルコトヲ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ桑園許可制度デゴザイマスガ、食糧トノ關係カラ致シマシテ、斯ウ云フ制度ガ出來マスト云フカラ、或ハ桑園面積ガ漸次増大ヲスルヤウナコトニナリハセヌカト云フ考モ出ルノデアリマス、ソレデハ食糧其ノ他等ノ増産ヲ圖ラナケレバナラナイ此ノ時ニ於キマシテ、ソレト矛盾スルヤウナ現象、傾向ガアリマシテモト存ジマシテ、先ヅ現狀維持ト云フ考ノ下ニ、新設或ハ擴張ト云ツタヤウナ場合ニハ之ヲ許可ヲ受ケサセルト云フヤウナ制度ヲ採ッテ見タイト、斯ウ云フ考ヘ方デ、桑園ノ今後ノ政策ト申シマスルカ、ト云フコトニ付キマシテ、以上申上ゲタヤウナ考ヘ方デ進ミタイ、斯ウ云フ心組デ居ルノデゴザイマス

○野村徳七君 大體承リマシタノデスガ、必ズシモ此ノ桑園整理ガ生産ノ調節ト云フコトカラ出發シタノデナクシテ、一舉兩得ノヤウナ場合モアル、又食糧政策ノ上カラモ考ヘラレテ居ルト云フ御話、御尤モガラウト思ヒマス、一體只今、蠶絲委員會デ決メラレタノデスカ千三百五十圓ノ價格維持ト云フコトニ依リマスル生産「コスト」カラ割出シマシテ、結局農家ノ繭生産ニ對シマスル收入ト云フモノガ、國民ノ主要食糧デアアル米作、所謂農家ノ二大生産品デアアル此ノ米價ト云フモノト、現在ノ米價ト云フモノト對比致シマシテ、千三百五十圓ト云フモノヲ基準トシテ今後割出サレテ行キ、千三百五十圓ヲ

必ズシモ將來ノ値段トハ申シマセヌガ、先
ヅ近キ將來ニ於テ維持サレテ行クベキ千三
百五十圓ヲ標準トシテ農家ノ收入、收入ト
云フヨリモ利得、ソレカラ米作ニ依リ利得
ト云フモノトハ、是ハ全國均一ト云フコト
ハ申シニクイノデアリマスケレドモ、ドチ
ヲ採ツタ方ガ大體農家トシテハ利益デア
ルカト云フコトニ付テ、政府ハドウ見テ居
ルノデアリマスカ

○政府委員(吉田清二君)

千三百五十圓ノ

生絲ノ價格維持ノ此ノ政策ト申シマスルカ、
ト云フコトハ、是ハ繭值ヲ維持シテヤルト、
斯ウ云フヤウナ考ヘ方カラ來テ居ルノデハ
ナイノデアリマシテ、主トシテ外貨ノ獲得、
生絲ヲ輸出致シマシテ外貨ノ獲得ヲ致シマ
スル見地カラ、此ノ程度ノ値頃以下ニ下ゲ
ル必要ハナカラウ、要スルニ海外ヘ、此ノ
程度ヲ底値トシテ出シマスルナラバ、海外
ニ於テモ左程之ヲ購入致スニ困難デナイ、
サウシテマア外貨ノ獲得上向フデ買得ルナ
ラバ、高ク賣リマシテ、多クノ外貨ヲ獲得
シタイ、斯ウ云ツタヤウナ主トシテ海外ヘ
賣込ム上カラ考ヘマシテ、適當ノ値頃ト考
ヘマシテ、千三百五十圓ト云フ値頃以下ニ
ハ下ゲマイ、斯ウ云フヤウナコトニ致シテ
居ルノデアリマス、ソレハ値頃カラ申シマ
スト……モウ一ツハ價格ノ安定ト云フコト
ガ極メテ海外ノ需要者ニ、値頃ノ高い低イ
ト云フコトモアリマスガ、値頃ヲ安定サセ
ルト云フコトガ、極メテ必要ナノデゴザイ
マス、昨年來相當高クナリマシテカラ、反
動的ニ下リ始メマシテ、ソレガ漸次下ッテ參
リマシテ、此ノ儘放置致シテ置キマスと云
フト、餘程下ッテ來ルヤウナ形ニナリマシ
タ、海外ノ消費者モ非常ニ不安ナ狀態ニナ

リマシタ、マア買ッテ宜シイノカ、マダ下ル
ノカト云ツタヤウナコトニ對シテ、非常ナ
不安ガゴザイマシタ、此ノ不安ト云フモノ
ヲ適當ナ所デ止メテ、先キノ値下リナシト
斯ウ云フ安心ヲ與ヘテ、サウシテ十分必要
ナ物ヲ買ッテ貰フ、斯ウ云フヤウナコトニス
ルノニハ、値頃ノ何處迄下ルカ分ラヌト云ッ
タヤウナ情勢ニ對シマシテ、之ヲ安固ナ形
ニスル必要ガアルデアラウ、斯ウ云フ考ヘ
方モアリマシテ、サウシテ然ラバドノ邊ノ
値頃ガ宜カラウカ、斯ウ云ツタ考ヘ方カラ
シテ千三百五十圓以下ニハ下ゲナイ方ガ宜
カラウ、是ハ大體「アメリカ」ノ相場ト致シ
マシテハ、「ポンド」「ドル」「四」「五十」「セ
ント」程度ノモノデゴザイマシテ、靴下製造
ノ方面カラ申シマシテモ、左程購入致スノ
ニ困難ナ値頃デモナカラウ、斯様ナコトヲ
考ヘマシテ、千三百五十圓ヲ底値ニシテ落
著カセル、斯ウ云フ考ヘ方デ、所謂絲價維
持ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、從ヒマ
シテ是カラ逆ニ計算致シマス繭值ト申シマ
スト、大體今日、六十五掛乃至七十掛近ク
ノ値頃ニナルト思フノデゴザイマス、是カ
ラ養蠶ノ方ノ收入ヲ考ヘテ見マスと云フト、
是ハ米ノ方ト比較致シマスと、簡單ニ比較
スル譯ニモナカ、難カシイモノナノデゴ
ザイマシテ、米トドツチガ割ガ宜イデア
ラウカ、惡イデアラウカト云フコトハ、簡單
ニ私トシテモ言ヒ切レナイ點ガアルノデア
リマス、今後ハ十分色々觀點カラ米作ノ
ヤウナモノト、今千三百五十圓カラ割出シ
マシタ繭值ヲ維持スルモノトシテ、養蠶家
ノ收入トドツチガ割ガ宜シイカト云フコト
ハ、モウ少シ研究致シテ、色々ナ方面カラ
研究シテ見ナイト、此ノ比較ノ問題ハ私共

ト致シマシテモ、直チニドツチガ有利デア
ルト云フコトハ、申上ゲ難イト思フノデア
リマス、唯感じノ問題ト致シマシテハ、今程
申シマシタ絲價維持ハ上ノ方カラ……上ノ
方ト申シマスカ、生絲ノ外國ヘ出シマス見
地カラ致シテ居リマス關係上、是カラ割出
シマシタ繭值ガ今後ズツト維持サレルト云
フコトニナリマスと、感じト致シマシテハ、
マア比較的養蠶家ノ方ガ有利デヤナカラウ
カ、斯ウ云フ感じハ持ッテ居リマス、併シ是ハ
ハッキリトドウ云フ根據デ有利ナシタト云フ
ヤウナコトヲ、マダハッキリト説明申上ゲル
程ノ確タル材料ヲ持ッテ居リマセヌガ、唯感じ
ダケハ、サウ云フ感じヲ持ッテ居リマス

○野村德七君

大體ノ承シマシタ、衆議院

ノ速記録カラ拜見致シマシテモ、何デモ一
「ポンド」デ專門家ガ居ラレマスケレドモ、
私ハ一向生絲ノコトハ分ラナイノデアリマ
スガ、大體アレデ拜見シタ所ニ依リマスと、
只今御説明ノアツタ通り「ポンド」カラ一
「ダース」乃至薄物デアラナラバ二十足位ノ
靴下ガ取レルカラ、約一足二十「セント」位
ガ生絲ノ原價デアルト云フヤウナコトヲ言
フテ居ラレヤウナ委員ガアリマシタガ、
一「セント」ナンデモ生絲ガ高クナル、詰リ
原料ガ高クナッテ、結局日本ノ百二十圓位ニ
爲替相場ニ換算スルト、詰リ靴下一足代一
「セント」高ク上ツタ所デ、日本ノ生絲價格
ガ百二十圓程上ル、ソレデスカラ千三百五
十圓ノ生絲ハ靴下一「セント」「アメリカ」デ
上レバ千四百七十圓デモ宜イノダ、先刻農
林大臣ノ御説明ノ中ニモ今迄生絲價格ト云
フモノハ販賣販路ノ重點ヲ外國ニ持ッテ居ッ
タケレドモ、是カラハサウ云フコトハイケ
ナイカラ、此ノ御説明モ所謂三本建ト云ヒ

マスカ、海外向、國內向、ソレカラ外ノ織
維ト……合成纖維ノ方ト、所謂新需要ト
云フ生絲科學研究所デ目下盛ニ研究シテ居
ラレルト云フ御説明ノアル「セリシン」定著
法デスカ、私一向存ジマセヌデスカレドモ、
サウ云フモノニ依ッテ所謂三本建ニ依ッテ行
カウ、ソレデスカラ、私ハ生絲ノ海外ニ賣
ル値段ハ果シテアノ「パラシュー」ト云フ
モノハ全面的ニ日本ノ生絲ニ依ラナケレバ
ドウシテモイカヌモノデアルト云フコトデ
アルナラバ、是ハ何モ生絲ハ「アメリカ」ヲ
必ズシモ對象トスベキモノデナイ、將來空
軍ノ發達充實ニ依ッテ、日本ノ生絲ト云フモ
ノハ軍用方面ニ恐ラク無限ノ需要ヲ持ッテ
居ルモノカノヤウニ思ヒマス、トスレバ必
ズシモ日本ノ米作ト云フモノノ農家ノ利得
ト睨ミ合ッテ行クベキモノデモナイト思ヒ
マス、自然內地ノ電氣ヲ纖維ノ供給ヲ確保
シテ、サウシテ残りノモノヲ「コントロ
ル」シテ操作シテ、欲スル價デ賣ッテヤッテ
宜イト云フヤウナ位ノ態度デデモ海外ノ價
格ハ上ッテ行クモノデアラウト思ヒマス、併
シ又自然ソレカラ起ッテ來ル輸出ノ方法ト
カ、販賣トカ云フヤウナコトハ別ノ問題デ
私ハ商工省ニ少シ伺ヒタイコトガアルト思
ヒマス、併シ現狀ニ於テハ兎ニ角千三百五
十圓ノ絲價ハ、是ガズツト適正價格ニ依リ、
原價計算ニ依リ繭ノ價ト云フモノガ割出サ
レテ來タ場合ニハ、先ヅ大體農家ニハ米ヲ
作ルヨリモ有利デアルト、マア大體言フテ
差支ナイ、斯ウ云フ見地デ居ラレルト云フ
ヤウニ拜聽致シマシタ、サウ致シマスと、
茲ニ桑園整理トカ、又從ッテ釜數ノ整理トカ、
勢ヒ之ニ亦相當ナ執著ヲ持ッテ居ル所謂仲
買人ト申シマスカ、所謂繭ノ集散ヲヤッテ

居ル仲介者ハ相當ノ數量ノヤウニ是ハ拜見致シマス、斯ウ云フヤウナモノニ對スル失業對策ナド相當問題ニナリハセスカト思フノデアリマス、相當之ニ對シテ御考慮モアリ、御用意モアルト思フノデスガ、一應拜聽シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(吉田清二君) 統制ヲシテ參リマシテ會社デ以テ種繭、ソレニ生絲ト云フモノヲ一手買取、一手販賣スルト云フ原則的ニサウ云フ考ヘ方ニ致シマス、繭ノ部門ニ於キマシテモ、生絲ノ部門ニ於キマシテモ、之ヲ取扱ッテ居リマシタ中間商人ト云フモノニハ相當影響ガアルダラウト云フコハト御説ノ通りト考ヘルノデアリマス、併シ是ハ政府ト致シマシテハ、極力失業ト云ツタコトヲサセタクナイ、値段ヲ安クシテ、無駄排除ト云フヤウナ考ヘ方モ勿論アリマス、ソレガ主タル考ヘ方デ……所謂中間業者等ノ無駄ヲ取り除イテモ出來ルダケモノヲ安ク作ラウト云フ考ヘ方カラ主トシテヤッテ居ルコトデハナイノデアリマシテ、一朝事ガ有ツタ際ニ、蠶絲業ノ全般ノ業者ガ狼狽シテ蠶絲業ヲ舉ゲテ轉落スルヤウナ心配ノ全クナイヤウニ、業界ヲ安固ニスルト云フヤウナコトニ無論考ヘ方ノ中心ガ今ノ統制ト申シマスルカノ考ヘ方ニアルノデアリマス、從ヒマシテ從來トモ蠶絲業ノ一部ニ携ハッテ、マア一役買ッテ之ニ從事致シテ居リマシタ各業者ニ付キマシテハ無論非常ニ多クノ利益ヲ占メサセルト云フコトハ無論イケンナイコトデアリマス、サウシテ飯ヲ食ベテ行ケルト云フ職場所出來得ル限リ安定ヲ致サセマシテモ保護シテ行キタイ、サウシテ此ノ制度ノ結果トシテ餘リ失業者

トカ、轉職業者トカ云フモノヲ出シタクナイ、斯ウ云フ考方デ、少シ欲張ツタ考ヘ方カモ存ジマセスガ、考ヘ方トシテハサウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ繭ノ商ヲ致シテ居リマスル業者ハ全國ニ五萬バカリザットアルノデアリマス、マア斯ウ云フ人達ニハ或ハ玉繭デアリマス、二、三等繭、三等繭トカ、上繭ノ生絲デアリマストカ、斯ウ云ツタヤウナ繭ノ集荷、或ハ配給ニ從事スルト云フ途ヲ拓キマシテ、職場所守ラセルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ生絲ノ商人ニ付キマシテハ、是ハ會社ガ一手ニ製絲カラ買取リマシタモノヲ販賣致シマスル場合ニ、結局織物業者ニ配給致シマスル場合ニ、此ノ生絲ノ商人ヲ通シテ配給スルト云フコトニ依リマシテ、其ノ間ニ於テ手数料、マア適正ナ手数料程度ノモノヲ取得スルコトガ出來ルヤウナ途ヲ拓クト云フ風ニ致シテ參リタイ、斯様ニソレノ其ノ業者毎ニ適當ナ職場所殘スト申シマス、活用スルト申シマスルカ、途ヲ拓キマシテ、轉失業者ヲ極力少クシテ行キタイ、多少窮屈ニハナリマスガ、從來ノヤウニボロイ儲ケトカ云ツタヤウナコトハナクナルノデアリマス、適正ナル手数料程度ノモノハ取得出來ルト云フ風ニ成ルベク進ンデ參リタイ、斯ウ云フ心持デ參ッテ居ルノデアリマス

○野村德七君 是ハナカノムヅカシイ問題ト思ヒマス、相當御考慮ノアルコトト存ジマスガ、ソレニ付キマシテ此ノ生絲ノ生産ノ調節ト云フコトハ、私ハハ紡績會社ノ少數ノ例カラ考ヘマシテ、甚ダ淺薄ナ考ヘ方カモ知レマセスケレドモ、大體釜數デ整理、調節ガ出來ルモノデハアルマイ

カ、處ガ此ノ速記録ヲ拜見シマス、釜數デハ能率ガ四百位ノモ五百或ハ七百ノモアルト云フコトデアリマス、是ハ釜數ノ上ダレ能率ニモ依リマセウケレドモ、大體之ヲ相當優秀ナ、或一般的ニ可能ナ優秀ナ程度迄、技術的ト申シマスルカ、技術的ニ指導サレバ釜數ノ整理ニ依レバ大體生絲ト云フモノノ生産ノ増産ガ出來ルヤウニ思ハレルノデスガ、ソレハドウ御考ニナッテ居リマス

○政府委員(吉田清二君) 御説ノ通りデアリマシテ、釜數デ無論大體調節ガ出來ルノデアリマスガ、唯非常ニ細カク、釜數ヲ五分減ラシタカラ生絲ノ生産量ガ必ズ五分減ルト云フコトハ、是ハ他ノ機械工業ノヤウナ風ニハナカノ行カヌノデアリマスガ、相當釜數ヲ減ラシマスレバ無論製造量ガ減ルノデアリマス、或ハ現狀ニ於キマシテハ、製絲業ニ於キマシテハ相當休息等モアリマス、現在ノ儘ニ於キマシテハ、釜數ダケヲ一割減ラシマシテモ、矢張り休ヲ少シ少ク致シマス、或ハ質ガ落チテモ少シ速力ヲ早く廻シテ早く生絲ヲ造ルトカ云ツタヤウナコトヲ致シマスル製造數量ニハ必ズ釜數ヲ減ラシタカラト云フ、其ノ割合ガ直チニ現ハレルモノデハナイ、所謂ソコニ何ト申シマス、融通性ノモノガアルノデアリマシテ、他ノ機械ノヤウニ機械力ヲフルニ動カシテ一日ニ何時間廻セバ幾ラ出來ルト云ツタヤウナ機械設備ト、ソレカラ製造能力ガピタリ合フテ行クヤウニ、精密ニハ合致シテ行クモノデハナイノデアリマスガ、大體論ト致シマシテハ製造ノ量ガ減ルト云フコトハ、釜數ガ減ルトニ依ッテサウナルノデハナイカト云フコトハ大體

其ノ通りデアルト思フノデアリマス

○野村德七君 ソレカラ市場ノ問題デアリマスガ、此ノ法律ガ出マシテ實施サレマスヤウニナリマシテカラ後モ、横濱、神戸ノ兩市場ハ、現在ノ儘、ア、云ウ機構ノ儘デ置イテ行カレル御積リデアリマスルカ

○政府委員(吉田清二君) 此ノ統制ノ結果、會社ニ於テ生絲ノ一手買取、一手販賣ノ原則トシテヤルト云フ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマスガ、海外ヘ出シマスル生絲ノ販賣部面ニ於キマシテ、會社ノ一手買取、一手販賣ト云フヤリ方ハ、少クトモ色々ト考ヘテ見マスルト逆ナ結果ヲ來シハシナイカ、要スルニ外貨獲得、輸出振興ト云フ見地カラ見マシテ、適當デナイ結果ヲ來スノデアリマシテ、適當デナイ懸念ヲ持ッテ居ルノデアリマス、業者ヲ安固ナ立場ニ置キ、極メテ樂ナ立場ニ置クト云フ一點張リカラ見マスレバ、ソレハ會社デ必ズ決マツタケノモノヲ買取ッテシマウト云フ風ニ致シマスレバ宜イト云フ風ニモ見エルノデアリマスガ、之ヲ海外ヘ賣ルト云フコトカラ考ヘテ見マスルト、ドウモ一手買取、一手販賣ト云フコトニ依ッテ海外ヘ賣出シマスレバ、外貨ノ獲得、輸出ノ振興ト云フ上カラ見マシテ適當デナイノデアリカ、要スルニウマクハ行カヌ、私共ハ斯様ナ見方ヲ致シテ居リマシテ、輸出ノ方面デ、海外ヘ出マスル生絲ノ販賣部面ニ付キマシテハ、現在通りノ取引方法ニ依ルノガ宜カラウ、但値段ノ暴騰、暴落ト云フコトハ、是ハ何トシテモ已ムヲ得ナイコトデアリマス、之ニ對シテハ出來得ル限リ安定ヲセシメマシテ、値幅ヲ決メマシテ、一定値以上ニ之ガ上ルコトヲ抑制シ、又一定値以下ニ下ルヤウナ場合ニハ今致シ

テ居ルト云フヤウナ方法ニ依リマシテ、値下ヲ防止スルヤウニシテ、ソレデ上下ノ値幅ヲ縮メルト云フ風ニ致シマシテ、其ノ間デ相場ヲ調節シテ行クト云フ方法ハ是ハ立チマスルガ、此ノ取引ノ方法ト致シマシテハ、現在ノ販賣方法ニ依ルノガ一番宜シイ、斯様ニ考ヘマスノデアリマシテ、從ヒマシテ横濱、神戸ノ市場ハ、現物ニ致シマシテモ清算ニ致シマシテモ、私共ノ考ヘテ居ル所デ申シマスレバ、存シ得ルコトニナルモノト見テ居ルノデアリマス

○野村徳七君 サウ致シマス、統制會社デハ日本ノ生絲ヲ一手デ販賣サレノデアリマスルガ、併シナガラ販賣サレテ行ク價格ト云フモノハ、兩市場ノ日々ニ示ス價格ニ準據サレト云フコトニナリマス、一定サレテ居ルヤウデアリマスレドモ一定サレテ居ラナイ、併シ上、下ノ値幅ハ、發表シタヤウニ決メテ居ルカラシテ、上値、下値ハ是以上ノ高下ハナイカラ、其ノ邊ハ自由市場デ一應アツテモ差支ナイ、併シ統制會社ハ一手販賣會社デアルノデアリマスカラ、矢張り兩市場ヲ睨ミ合ッテ、毎日販賣價格ヲ變ヘテ行クト云フヤウナコトニナリ得ルヤウニ見エルノデアリマス、兩市場、殊ニ清算市場ガ日々動搖シテ居ルト、此ノ値幅ハ上、下ノ差ガ大キナ幅デアリマス爲ニ、可ナリ其ノ間ニ高下ノ餘地ヲ存シテ居ル譯デアリマス、所謂全價格カラ言ヘバ二割何ボト云フヤウナ變動ヲ許シテ居ル譯デアリマスカラ、可ナリソコニムツカシイ問題ガ出來ハシナイカ、マアソレハ專賣デナイ所以デアリマスレドモ、是ヘ一手デ賣ラセルト云フ意味デアリマシテ、專賣ト云フ意味トハ違フト思フノデアリマスレドモ、

果シテソレデ宜イモノデアリマセウカ、其ノ市場ノ操作迄勢ヒ統制會社ガ乗出サナイト云フト、仕事ガ非常ニ困難ニナルト云フヤウナ實情ヲ來スノデハアルマイカト云フ考ヲ持ツノデアリマス、如何デセウカ

○政府委員(吉田清二君) 此ノ統制會社ガ、生絲ヲ原則トシテ一手デ買取ル、サウシテ其ノ生絲ヲ一手デ販賣致スト申シタノデアリマスルガ、此ノ輸出向ノ生絲ニ付キマシテハ、會社デハ買ッテ賣ルノデハナイノデアリマス、會社デ一手デ買取リ一手販賣スルノハ、即チ國內ニ向ケテ販賣スル物ハ一手デ買取リ、一手販賣ニ致シタイト云フ考ヘ方ヲ持ッテ居ルノデアリマスルガ、海外ニ出シマスル物ハ、會社ニ一手買取ヲ致シマシテ外國ヘ賣ルト云フ風ニシナイデ、現在操業致シテ居リマスル製絲家ガ、自己ノ計算ニ於テ市場ヘ、現在ノ賣買ノ方式ニ依リマシテ販賣スル、從ヒマシテ、生絲ノ販賣面ニ於キマシテ、輸出向ノ生絲ノ取引ニ付キマシテハ、會社ノ手ヲ經由シナイ斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、從ヒマシテ一定値ト言フテモ、其ノ一定値ヲ毎日會社ガ變ヘルノカト云フ御話デアリマシタガ、此ノ輸出ノ問題ニ付キマシテハ、今申シマシヤウナ關係デアリマスカラ、是ハ現狀ノ形デ相場ガ出來ルノデアリマス、ソレカラ内地ノ方ニ向ケル生絲ニ付キマシテハ、會社ガ一定ノ買入値段ヲ決メマシテ、製絲家カラ買取リマシテ、ソレカラ賣値ヲ決メマシテ、其ノ値段會社ガ賣ッテ行クト云フ風ニナリマス、國內ノ方ノ生絲ノ部面ニ於キマシテハ値段ガ一定スル、斯ウ云フコトニナラウト思フノデアリマス、ソレカラ少シ諄イヤウデアリマスガ、輸出ノ方ヲ何ガ故ニ會

社ガ一手買取、一手販賣ヲシナイカ、先程色々逆ナ結果ニナリハシナイカト云フ懸念ガアルト申シマシタガ、私共ノ考ヘテ居ル理由ト致シマシテハ、會社ハ、今日大體七十萬程度ノ生絲ヲ内外ヲ通ジテ消費サレテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ全部一ツノ會社ガ買占メマシテモ、是ハ餘程今日ニ於ケル他ノ物資ノ狀況ト違ッテ居ルト思フノデアリマス、ト申シマスノハアノ物資ハ、例ハ適當デナイカモ知レマセヌガ、米ニ致シマシテモ炭ニ致シマシテモ、非常ニ需要ガ多イ、供給量ガ足ラヌコトガ問題デアリマシテ、從ヒマシテ斯様ナモノデアリマスルナラバ賣人側ノ欲スル値デ、高クシヨウト思ヘバ高クナルト私ハ思フノデアリマス、殊ニ高クスル場合ニ於キマシテ、高ク賣ル場合ニ於キマシテ、賣人側ガ決定シ得ルノデアリマス、處ガ生絲ノ場合ハ、動トモ致シマスルト供給潤澤過ギルト云フコトデ寧ろ惱シデ居ルト申シテ差支ナイと思ヒマス、斯様ノモノヲ會社ガ一手ニ買取リマシテ、之ヲ獨リデ販賣致シマス場合、國內ノ方ハ、或ハ低物價等ノ關係カラ安ク提供スル必要ガアルデアリマセウカラ、安クスルト云フコトモ宜シイカト思フノデアリマスガ、海外ニ出シマスル場合、無論無闇ニ高ク賣付ケルト云フ考ハ宜シクアリマセヌガ、外貨獲得ノ見地カラ、出來得ルナラバ、相手ガ買ッテ差支ナイト思ハレル限り、マア高イ方ガ宜シイト考ヘマス、ソコデサウ云フ考ヘ方デ向フハ賣リマス場合ニ、賣人側デ總テ一手ニ持ッテ居リマシテ、潤澤ト思ハレル程物ヲ抱ヘテ居ル狀態ニ於テ、高イ値デ果シテ突ッ張ッテ維持シテ行ケルカト云フ點ガ、第一私ノ一ツノ懸念デア

リマス、ツイサウ云フコトニナリマス、向フノ方ノ買人カラハ足許ヲ見ラレルト云ヒマスカ、ト云フヤウナ所カラ、コッチノ言ヒ値デハ買ハナイ、少シ負ケテ貰ハナケレバナラスト云フ場合ニナリマス、今度ハ五十圓、七十圓ト下ゲテ賣ル、ソコデ下ゲ足ガ付キマスト又押サレル、斯ウ云フコトニナッテ値段ハデリ賣ニ下ガラザルヲ得ナイト云フコトニナッテ、斯ウ云フコトニ若シナルト致シマスルト、外貨ノ獲得カラ申シマシテ非常ニ不利デアリマス、ソレデハ安定ドコロデナク、極メテ惡性ノ不安定ト云フコトニナリマシテ、會社ガイツ何時値ヲ五十圓、七十圓下ゲヌトモ限ラス、日々ノ相場デ上リ下リニナッテ居ルナラバ賣人モ納得致シマスガ、會社個人ガ今月百圓下ゲ、來月五十圓下ゲルト云フコトニ致シマシタノデハ、是ハ非常ニ滯貨ノ消費カラ申シマス困ッタ不安定ニナッテ來ハシナイカ、斯ウ云ツコトガナケレバ無論結構デアリマスカ、今ノ生絲ノヤウナモノニ付キマシテ、一面ニ於キマシテ外貨獲得ヲ十分シナケレバナラス大事ナ生絲貿易ノ賣込ノ場合、一手買取一手販賣ト致シマス、サウ云フヤウナ逆ナ惡イ結果ニ終リハシナイカト云フコトヲ非常ニ恐レルノデアリマシテ、ソコデ先程申シマシタヤウニ、値幅ヲ抑制致シマシテ、暴騰暴落ヲ防止スル方法ヲ講ジマスルト共ニ、自然ノ形ニ於テ出來ル相場デ取引ガ行ハレ、物ガ流レル、斯ウ云フヤリ方ガ宜シイト、斯様ニ信ジテ居リマスルノデ、輸出生絲ニ付キマシテハ今申シマシタヤウナ販賣方法ニ致シテ行カウト、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○野村徳七君 モウ少シ其ノ點ガ私了解シ

マセスノゾ、考ヘサセテ戴キ、又伺ヒタイ
ト思ヒマスガ、大體私ハ生絲ニ對スル、所
謂國家ガ乘出シテ操作ヲシタト云フコトガ、
今迄成功ノ方ガ非常ニ多カッタと思フ、何デ
モ第一回ニヤラレタノハ桂内閣時代カト思
ヒマスガ、是ハ生絲業者ノ申請ニ依ッテ、生
絲市場救済ノ爲ニ政府ガ資金ヲ與ヘテ生絲
ヲ買取りマシテ、結局其ノ後矢張り回復シ
マシテ、高値デ處分致シマシテ成功シマシ
タ、其ノ後モ數回成功シテ居ルト思ヒマス、
政府ハ餘リ生絲ノ操作ニハ過去ノ歴史ガ安
値デ買ッテ高値デズット捌ケテ居ルト云フコ
トデ、可ナリソコニ樂觀的意見ヲ御持ニナ
テ居ッテ、少シサウ云フコトニ對スル用意
ガ、マダ足ラヌデハナイカト云フ考ガ起ッ
タリスルノデアリマス、ト云フノハ、コン
ナ風ニ國內需要ヲ凡ソドウト云フ風ニ決メ
ラレマスナラバ、國外ニ出ル所ノ數量ハ大
方分ルノデアリマス、サウシテ「ナイロン」ガ
ドノ程度ニ發達シマスカト云フコトハ、情
報デ是モ大概分ッテ居リマス、「ナイロン」ノ
靴下ト云フモノハ、相當生絲ノ代用トシテ
賣レテ行ク、製造サレテ需要サレテ行ク數
量モ統計分ッテ居リマス、ソレデ生絲ハ靴
下ノミナラズ、外ノ方ニモ販路ガ擴ガッテ居
ル、ダカラ大體海外ノ需要ト云フモノハ、
靴下ノ原料代ヲ一錢上ゲタ所デ、日本ノ生
絲ハ千二百圓ト云フコトニナル、デスカラ
ソコニ千三百五十圓ト千七百圓位ノ間ノコ
トハ、靴下一足デ二錢五厘ノ相違デアリマ
ス、靴下一足デ二錢五厘ノ「スベキユー
ト」スル餘地ハ、「アメリカ」ノ「マーケッ
ト」ニハ何時デモアルと思フ、ソコニ相當ノ率
制ヲ持ッノデハナイカ、現物、清算ノ兩市
場ヲ通ジテ現在ノ儘デアリマス、相當餘

リ遠カラヌ過去ニ於テモ、政府ガ捌イタ後
ニ相當撥機ヲヤッテ、生絲ノ値ガ可ナリ大
キク動イタ例ガ、過去ニ於テ見出サレルト
思ヒマス、相當モムヅカシイ問題デハ
ナイカ、餘程清算市場ト云フモノニ對スル
御考ガ相當考慮ヲ要スルモノデハナイカ、
ソレトハハ商工省ニ御尋シタイノデスガ、
必ズ起ッテ來ル問題デスケレドモ、賣手ガ
一本ニナリマス、之ヲ買ウテ輸出スルト
云フ商賣ハ、所謂統制「ビデネス」ト云フコ
トニナリ、統制商賣ト云フコトニナル、統
制商賣ト云フコトニナリマス、今迄持ッ
居ルヤウナ販賣會社ニシマス、宣傳機關、
或ハ新ラシイ需要ヲ販賣者自ラガ努力スル
ト云フコトハ第二ニナリマシテ、只生絲ガ
賣レバ宜イト云フコトニナル、取扱ッテ手
數料ヲ取ルト云フコトニナル、宣傳トカ新
用途ノ研究ト云フモノハ、是ハ科學研究所
又ハ國家ニ委セテ置ケバ宜イト云フコトニ
ナル、特別國家ノ爲ニ何カ考ヘテ居ル人ガ
アレバ「イザ」知ラズ大體營利會社トシテハ當
然サウ云フ風ニナルベキモノダト思ヒマス、
ソコデ其ノ所謂輸出數量ノ獲得ト云フヤウ
ナ問題ガ起ッテ來ル、輸出數量ヲ餘計扱ヘ
バ「コンミッション」ガ餘計上ガルト云フコト
ニナル、生絲ガ必ズ此ノ値段デ統制サレテ
行クト、「アメリカ」ノ「マーケッ」ニハ非常
ニ旺盛ナ需要ヲ持ッテ居ルト見タナラバ、一
依デモ餘計扱ハネバ損ダ、デスカラ統制會
社ニ繼ッテ販賣取扱數量ヲ必ズ追ッテ來ル、
キットサウ云フ問題ガ起ッテ來ルト思ヒマス
ガ、是ハハ商工省關係ノ、貿易ノ關係ノ方
ニ後程伺ッテ見タイト思ヒマスガ、私ハ一應
此ノ邊デ……

御話デゴザイマスガ、輸出向生絲ノ扱ハ、
會社ノ方デ一ツニ纏メテ、輸出業者ニ取扱
ヲ委託スルノデハナイノデアリマス、製絲
家ハ現在澤山アリマスガ、其ノ中デ指定致
シマシタ生絲ノ製造家ニ限り、而モ指定致
シマシタ數量ニ於テ、之ヲ製造家ガ直接橫
濱デ販賣スル、會社ガ一手ニ買取りマシテ、
會社ニ輸出ヲ委託スルト云フ取扱ニハナッ
居ナイノデアリマス、從ヒマシテ今御話ノ
ヤウナコトハ、輸出生絲ニ付キマシテハ起
リ得ナイノデアリマス、サウ云フコトニス
ルノハ適當デナイ、斯様ニ考ヘマシテ、輸
出ノ方ノ海外ニ出マス絲ニ付キマシテハ、
製造家タル製絲家ガ自ラ橫濱デ販賣致シ、
從ッテ會社ニ一手デ買取ッテ纏メマシテ、之
ヲ會社デ一手デ海外ニ出スト云フコトニ致
シマスルト、非常ニ取扱數量ヲ外國ニ多ク
シテ呉レト云フヤウナコトヲ頼ミニ來ル、
ト云フヤウナコトガ起ルノデアリマス、サ
ウ云フコトニハナラナイノデアリマス

○野村德七君 サウシマス、生産過程ニ
於テ、既ニ是ハ輸出生絲デアル、是ハ國內
生絲デアルト云フコトヲ、生産過程ニ於テ
モウ決定サレテ居ルノデアリマス

○政府委員(吉田清二君) 今後ハ、指定致
シマシタ製絲家ニ對シマシテハ、輸出向ノ
生絲ノ製造ニ對シマシタ數量ヲ割當テルノ
デアリマス、サウ致シマシテ、是ハ海外ノ
取引ト云フモノハ百斤ヲ中心ニ致シテ居リ
マスカラ、現在ノヤウナ十六貫ノ形ニサシ
テ、橫濱デ販賣サセル、主トシテソレハ輸
出向ノ絲トシテ橫濱デ販賣サセルコトニ致
シマス、其ノ他ノ生絲ハ、是ハ形カラ言ヒ
マス現在十貫ト云フ形ノ範圍ニナッテ居
リマス、寧ロ其ノ方ガ便利デアリマスノデ、
初メカラ國用ト云フ方面ニ向ケル生絲ト致
シマシテハ、サウ云フ表裝ヲサセテ取引ヲ
サセルト云フ風ニ、今後ハヤッテ行キタイ
ト思ヒマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、
輸出向トシテ割當テラレタ生絲ニ付キマシ
テハ、形ガ違フト云フ、初メカラ海外ニ
向ケル積リデ、ドチラカト申シマス比較
的優良ナ製造ニ充デルト云フコトデ、初メ
カラ區別ガ出來テ參ルモノト信ジテ居ルノ
デアリマス

○瀧川儀作君 政府ガ此ノ生絲政策ヲ樹立
サレルトハ結構デアリマスガ、私ハ國策
會社ニ付キマシテ純然タル農業デアリ、養
蠶デアリ、又工業ノ範圍デアアル製絲業、輸
出商ト云フモノヲ、一ツノ會社ニ一元スル
コトニ付テハ、其ノ運営上餘程困難デナイ
カト云フ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、
過日來衆議院ニ於ケル速記録ヲ拜見シマス
ト、政府ト議員トノ間ニ詳細ナ問答ガアリ
マシテ、ハッキリト政府ノ御意圖ノアルコト
ガ分リマシタガ、私ハ政府ノ方針ニ付キマ
シテ疑問ノ點ヲ一ツ二ツ伺ッテ見タイと思
フノデアリマス、生絲ハ輸出ガ其ノ數量ニ
於テ約七割ヲ占メテ居リマシタノデアリマス
ガ、此ノ時局ヲ控ヘテ「アメリカ」ニノミ依
存スルコトハ困難デアルト云フコトハ御同
感デアリマスガ併シナガラ此ノ大キナ輸出業
者ノ事業ノ將來ニ付テ、餘程最善ノ注意ヲ
拂ハレテ居リマスコトハ誠ニ結構デ、輸出業
者モ、問屋モ、一部ノ製絲業者モ餘程安心
ヲシテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、
此ノ間中ノ衆議院ニ於ケル速記録ノ問答ニ
依リマス、私ハ更ニ進ンデ内地ノ一本ノ
値段デ以テ此ノ新會社ガ賣買スルト云フコ
トハ專賣ニ近イヤリ方ニ屬スルト思フノデ

アリマスガ、專賣トナリマス、當業者ノ損ヲシナイ程度デ買上ゲナケレバナラナイコトニナリマスカラ、養蠶業ノ如キ多數ノ農民ニ屬スルヤウナ何ニハハ非常ニ結構ダト思ヒマスガ、製絲業以上ニナリマス、損ノ行カナイ値段デ會社ガ買上ゲテ呉レ、更ニ會社ガ困ツ場合ニ國家ガ補償ノ地位ニ立ツト云フコトニナリマス、安心シテ粗製濫造ニ流レト云フ虞ガアルノデアリマス、多クハ申上ゲマセヌガ、新シイ事實ガ「マツチ」業アル、商工省ニ於テモ「マツチ」ト云フモノヲ統制シマス爲ニ非常ニ組合ヲ強化シ、更ニ販賣會社ヲ拵ヘテ、丁度此ノ生絲ノ國策會社ノヤウナモノヲ拵ヘテヤリマシタ結果、非常ニ整理ニ因ツタノデアリマスカラ、粗製濫造ニ流レテ火ノ出ナイヤウナ「マツチ」ガ澤山出マシタコトハ今ノ皆サンモ御承知ノ通り、現今既ニ「マツチ」ノ統制會社ガ出來ル以前ト今トハ品質ノ差等ヲ生ジタ、斯ウ云フヤウナモノハ全然將來ハ輸出ハ駄目デアリマス、「マツチ」モ輸出ガ七割八割モ占メテ居リマシタノデスガ、漸次統制強化サレテハ從ツテ、外ノ原因モアリマスケレドモ、輸出ハ全然不成功ニ終ツタ、國內品ニナツテシマツタ、會社ハ適當ニ値段デ販賣シテ居ルノデスカラ損ハ行カナイ、品物が悪い、悪いト云フ犠牲ヲ國民ガ拂ツテ居ルダケデ續イテハ居リマスカラ、生絲ノヤウナ大キナ事業ハサウ云フコトニナツテハ大變ナコトニナルノデハナイカト思フノデ、委員會デ十分審議ヲシタ結果、サウ云フ價格ヲ御定ニナルノデアラウト思フノデアリマスガ、輸出同様ニ或範圍ヲ定メテ、或ハ需要ト供給トノ見合ヒヲ付ケテ、相場ヲ決定促進サレルヤウナ風ニシテ行カレルノガ本當デハ

ナイカト思フノデアリマスガ、其ノ懸念ニ付テ政府ノ御意見ヲ伺フテ見テ置キタイノデ、是ハ根本問題ニナツテ來ルノデス、ソレカラ今一ツハ國策會社ハ必ズ之ヲ買上ゲルト云フコトニシナイデ、斯ウ云フ時局ヲ控ヘタリ、或ハ震災ガアツタリシタ場合ニ昂騰暴落ガアツタノデアリマスカラ、其ノ時ニ矢張り國家ガ救済スル外ナイノデアリマスカラ、或ハ國策會社ニ依ツテ金融ヲ付ケルトカ何トカノ方法ニ依ツテ急ヲ救フト云フコトニナサツタラドウカ知ラヌト云フノデ、是ハ意見デアリマスガ、其ノ事ヲ考ヘテ居リマスノデ、輸出ニ付テ餘程細心ノ考慮ヲ拂ハレテ居リマスカラ非常ニ是ハ結構ダト思ヒマスカラ、内地ノ方モ一本ノ價格デ以テ買入レルト云フコトニスルト、是ハキツ品質ガ低下シテ粗製濫造ニ流レルトハ是ハ請合ヒデアリマス、此ノ點ニ付テ御意見ヲ伺フテ置キタイノデスガ……

○政府委員(吉田清二君) 一手ニ生絲ヲ豫メ決定致シマシタ値段デ買入レルト云フコトニ致シマスルト、品質ノ低下ヲ來ス虞ガアルト云フ御意見ニ對シマシテ、私ハ全ク同様ナ感ヲ持ツテ居リマス、先程輸出ノ絲ヲ會社デ一手買取りヲシ、一手販賣ヲスルコトヲヤラナイト云フ理由ト致シマシテ、今ノ點ハ申シマセヌデシタケレドモ、同様ナ理由ガアリマスルノデ、輸出絲ニ付キマシテハ其ノ點ヲ非常ニ心配ヲ致シテ、ソレモ先程申上ゲマシタ一ツノ理由トシテ生絲ニ付キマシテハ專賣、一手買取りト云フコトヲ避ケテ居ルノデアリマス、其ノ理窟ハ内地ノ方デ處分サレル生絲ニ付テモ同様デアリマシテ、一手デ豫メ決メタ値段デ必ズ買フノダト云フコトニ決メマスルト、

其ノ検査ノ結果、豫メ決ツタ品等ノモノサヘ作レバ宜シト云フヤウナ氣持ニナリマス結果、検査ニ掛リサヘスレバ必ズ決ツタ値段販賣ガ出來ルト云フコトニナリマスルト、ドウシテモ粗製濫造ト迄ハ行カヌカモ知レマセヌガ、品質ガ低下スル傾向ヲ取ルト云フコトヲ恐レテ居ルノデアリマス、唯併シナガラ國內ニ於テ今後消費サレル生絲ニ付キマシテハ考ヘテ見マスレバ、斯ウ云フ時局柄デモアリ、大體ア、云フ華奢ナ、所謂海外ヘ出マスル靴下原料程ノ品質ニ於テ、ヤカマシイ華奢ナモノト云フヨリハ、寧ロ大イニ實用向ノ、ドチラカト申シマス、太イ實用向ノ生絲ト云フコトニ主眼ヲ置イテ行クベキデアルト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ品質ノ問題ニ付キマシテハ、海外ヘ出マスモノヨリハ相當私ハ大マカナ段階ヲ付ケテモ宜シイヤウナモノト思フノデアリマス、斯様ナ關係カラ理窟カラ申シマス、瀧川委員ノ述ベタ通りト思フノデアリマスガ、此ノ點海外ヘ出シマスモノト、國內デ今後消費スベク生産致シマスルモノトノ間ニハ、非常ニ品質ノ上ニ於テハ、片方ハ相當大マカナ品質ノモノデ宜シイ、斯様ニ考ヘマスノデ、一手買取、一手販賣ヲ致シマシテモ、マア我慢ガ出來ルノデハナカラウカ、從ヒマシテ多少懸念ハアルニ致シマシテモ、是ハサウ云フコトニヤツテ其ノ結果、業界ヲ安固ニスルト云フ一方ノ大キナ利益ガ得ラレルナラバ、會社ガ品質ノ低下ニ依ツテ抱ヘタ荷物ガ賣リニク、ナルト云フヤウナ點ハ我慢ガ出來ル、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デ、國內ノ方ノ生絲ノ販賣ニ付キマシテハ、會社デ一手ニ買ツテ一手ニ賣ルト云フコトヲヤツテ差支ナカラウ、斯

ウ云フ考ヘ方デ致シテ居ルノデアリマス

○瀧川儀作君 マダ二、三伺ヒタイコトモアリマスガ、當業者ノ方モオイデナリマスカラ、又改メテ私ハ御伺ヒスルトニ致シマス

○子爵米津政賢君、本案ノ審議ニ入りマ

ル前ニ、蠶絲業ノ全體ニ付テ質問ヲ申シマ

ス、一點伺ツテ置キタイノデスガ、支那ノ養

蠶……今度ノ法案ハ日本ノ養蠶トスレバ劃

期的ナ時勢ニ伴ツタ變革ニナリマスガ、或意

味ニ於テハ非常ニ退却シナケレバナラス、或

意味ニ於テハ又國用的ニ自主的ナ産業ニナツ

テ行ク譯デアリマス、其ノ場合ニ輸出ノ方

ガ從來「アメリカ」ト云フ御得意ガ日本カ

ラナクナルトスルト、支那ノ養蠶ガ餘程減ツ

テシマフヤウナコトニナルカドウカ、國ノ

關係カラ行キマス、日本ハ今嫌ハレ者ダ

カラ、向フデモ買ヒタクナイデセウケレド

モ、支那ト云フ國ニナツタラ向フデハ隨分使

フノデヤナイカ、ソレカラ戰爭ノ初メノ頃

ニ於キマシテハ、支那ノ養蠶業ト云フモノ

ハドウ云フ風ニナツテ行クカ、アレガ餘リ盛

ニナリマス、内地ノ蠶業ガドウナルカ、

相當心配サレタ問題ヲシイ、斯ウナツテ日

本ノ輸出ガ退却シテシマフヤウニナルト、

支那ノ養蠶ノ對外關係ト云フモノハドウ云

フ風ニナツテ行クカ、支那自身ノ養蠶ト云フ

モノヲドウ云フ風ニ持ツテ行ク積リダカ、是

ハサウ云フ方面ヲ考ヘテ出來テ居ルノデス

カ、ソレトモ今焦眉ノ急デ、日本ノ輸出ガ

止ツタト云フ問題カラ、内地ダケノ問題トシ

テ考ヘラレタ法案ナンデスカ、支那トノ見

透シ、日本ノ養蠶ト支那トノ見透シノ關係

ヲ、チョット歴史的ニ言ツテ戴ケバ尙宜イノ

デスケレドモ、戰爭ノ初メ頃ト今日ト、ド

ウ云フ既ミ合セデ出来テ居ルノダカ、サウ云フコトヲ考ヘナカッタノダガ、其ノ邊ノ説明ヲ伺ヒタイ

○政府委員(吉田清二君) 海外デノ生絲ノ市場ヲ確保シマスル上カラ申シマシテ、支那絲トノ間ニハ商賣敵ト云ツタヤウナ關係ニナツテ居ルノデゴザイマシテ、今後ノ輸出ノ問題ニ付キマシテハ、支那絲トノ關係ハ、米津サンノ仰シヤツタ通り極メテ重大ナ問題デアルノデアリマス、農林省ト致シマシテハ、無論ハ十分考慮致シテ居ルノデアリマス、支那事變ガ起リマシテ、直先ニアソコニ華中蠶絲ト云フ會社ヲ作リマシテ、謂ハバ共存共榮デ、日本ノ生絲ノ海外ノ「マーケット」ヲ支那絲ガ著シク蠶食スルト云フヤウナコトニハナラヌヤウニ、御互ニ是ハ共存共榮デ、餘リ自己ノ方ガ有利ダカラト云ツテ、出過ぎテ他ノ方ヲ抑ヘルト云フヤウナコトニナラヌヤウニト云フ考ヘ方ノ下ニ、適當ナ聯繫ヲ取り、適當ナ方策ヲ立テテ行ク、其ノ機關トシテ華中蠶絲株式會社ガ出来テ居リマシテ、大體此ノ會社ニ依リマシテ支那絲ノ統制トカ云フコトヲ致シテ居ルノデゴザイマス、是ハ日本ノ方ノ側カラ申シマスレバ、一俵モ出サヌヤウニスルト云フヤウナコトハ、マア身勝手ナコトヲ申シマスレバ、サウ云フ風ニナツテ貴ヒタイノデアリマスガ、是ハサウ云フコトハ出来ル筈デハゴザイマセス、要スル處、現在支那絲ハ爲替ノ關係デ非常ニ有利ナノデアリマス、爲替ノ關係カラ致シマシテ、支那ノ生絲ハ非常ニ海外ニ出易イ形ニナツテ居リマスルノデ、自然ノ儘ニ放置致シテ置キマスレバ、支那絲ノ全部ガ海外ヘ出テ行ク、ソレガ日本ノ生絲ノ海外ノ

市場ヲ蠶食スルト云フ形ニナルノデアリマス、コ、ラノ點ヲ、サウ云フ風ニナラナイヤウニ、色々向フノ現地ノ方面ノ當局トモ折衝致シテ居リマシテ、先申シマシタヤウナ懸念スル結果ニナラヌヤウニ、能ク連絡ヲ取りマシテ、調節シテ貫ツテ居ルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマシテ、今後共斯様ナ考ヘ方ヲ、嚴重ニ實施出来マヌヤウニ、支那側トモ折衝シ、場合ニ依ツテハ取極メヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、此ノ制度ハ、無論支那絲迄含メマシテ、支那ノ絲ヲドウスルスルト云フコトハ性質上決メラレマセヌノデ、此ノ制度ノ内容ハ今申スコトダケニ付テデアリマスガ、ソレト相違シテ、今申シマスヤウナ關係ヲ調節シテ行クコト云フコトハ、別箇ニ常ニ考ヘテ行カナケレバナラヌコトト存ジテ居ルノデゴザイマス

○子爵米津政賢君 今伺ヒマシタノハ支那絲ノ關係デ、大體其ノ御説明デ宜イノデスケレドモ、チョット部分的ニ入ツテ惡イカト思ヒマスケレドモ、先程モ問題ガ出タカラツイ伺フノデスガ、桑園ノ整理ナンゾノ場合ニ、今ノヤウニ日本ノ生絲ノコトヲ考ヘルト同時ニ、支那生絲モ考ヘテ行カナケレバナラス、桑園ヲ整理スルト云フヤウナコトガ起リマス、全國一律ニ何處デモ整理スルヤウナ腹案デオイデニナルノデスカ、實ハ何年カ前ニ、米ガ非常ニ餘ツタ時ニ減段ト云フ問題ガ非常ニヤカマシク言ハレテ居リマシタガ、アノ當時減段ト云フコトハ最モ必要ナ措置デアルヤウニ考ヘラレテ、減段減段ト云フコトヲ頻リニ言ハレタモノデアリマスガ、何年カ經ツテ見ルト減段ドコロノ騒ギデナクナツテ居ルヤウニ思フノデアリ

マス、養蠶ト云フモノモ、今ノ狀況ダト云フト成ル程餘程ノ劃期的ナ變革ヲシナケレバナラナイケレドモ、先ニナリマス、ト又ドウ云フ時代ガ来ストモ言ヘナイ、デ結局ハ、當然御承知ダケレドモ養蠶位農村デハ、發達シタ産業ハナイ、米ト養蠶ト云フコトハ農家ノ二本建、農業經營ノ上ニ於テハ大ナル部門デスケレドモ、養蠶ハ非常ナ發達シタ産業デアツテ、詰リ農家ノ産業トシテハ外ノモノニ較ベラレナイ、之ヲ又一旦退却シテ又盛返サナケレバナラヌ時代ガ来タラドウナルカ、デ伺ヒタイノハ、養蠶ト云フモノハ一旦退却シマシテモ亦再生力ト言ヒマスカ何ト云ヒマスカ、元ニ戻ス力ハ割合ニ簡單ナンデスカドウカ、山林ト云フヤウナモノハ濫伐シテシマッタ何十年間經タナケレバ材木ハ得ラレマセヌケレドモ、養蠶ノヤウナモノハ縮小シテモ退却シテモ、盛返スト云フコトハ相當ニ出来ルノダカドウカ、結局話ガ混亂シマシタケレドモ、桑園ノ整理ナドヤル場合ニハ、全國一律ニ唯減スノカ、農業經營ノ狀態ト云フモノハ此ノ長イ日本ノ國デハ色々違フノデスカ、養蠶ヲ廢メテ宜イ地方、「ブロック」モアラウシ、ソレカラ養蠶ヲ廢メルト外ノ代用作物ガ出来難イ方面モアル、サウ云フコトヲ考慮シテ萬遍ナイ整理ヲヤルノカ、計畫的ナ整理ヲヤルノカ、ソレカラ養蠶ト云フモノハ假ニ退却シテモ再生力ト云フモノハ強イト云フ御見込デテリマセウカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(吉田清二君) 最近計畫致シテ居リマスル桑園ノ轉作問題ハ、先程大臣カラ其ノ趣旨ヲ御説明ニナリマシタ通り、食糧ノ確保ト云フコトカラ、桑園ヲ轉作サセタイト云フノデ致シテ居ルノデアリマス、蠶絲ノ政策カラ纖維ノ供給ヲ調節シテ、サウシテ價格ヲ維持シヨウト云ツタヤウナ考ヘ方、マア言ヒ換ヘレバ蠶絲ノ政策トシテ減少サセル目的デ桑園ヲ整理シテ居ルノデハナイノデアリマス、從ヒマシテ此ノ桑園ノ整理ニ當リマシテ、全國一律ニ、各縣デ桑園面積ニ一割ナラ一割ヲ掛ケタ面積ヲ、各縣ニ割當テテ減段サセルト云フヤウナヤリ方ニハ致シテ居リマセヌ、ソレハ食糧増産ノ目的カラ、後作ニ適地デアルカドウカト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌノデ、結局陸稻デゴザイマスルトカ、大麥デゴザイマスルトカ、諸デアリマスルトカ云ツタヤウナコトヲ、多ク考ヘテ居ルノデアリマスガ、出来ルナラ水田ニ變ヘ得ラレル所ナラバ水田ニ變ヘサセルト云フヤウナコトモ考ヘテ居リマスル爲ニ、後ノ結果ガ舉リマスル趣意ニ適フヤウニ、結果ノ舉リマスルヤウナ風ニ、桑園ノ面積ヲ轉作サセテ行カナケレバナラス、從ヒマシテ非常ニ桑園面積ノ多イ縣デアリマシテモ、食糧作物ヲ植エサシテ見テモドウモ餘リ結果ガ舉リサウモナイ桑園ニ對シマシテハ、桑園ノ面積ガ多クテモ減段サセナイ、桑園ノ面積ガ少クテモ、非常ニ食糧ノ關係カラ申シマシテ、後作ノ關係カラ言ツテ效果ノアル所ニ割當テルト云フヤウナ、ヤリ方ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ桑園ハ今減シテモ直グニ復活スルダラウカト云フ點デアリマスガ、是ハ私米津サント同様ナ考デアリマシタナカ、(困難ダト思ヒマス、桑園ハ先ヅ四年、五年位經タナケレバ一人前ノ桑園ニハナラスト見ナケレバナリマセヌ、從ヒマシテ少シ纖維デモ入用ダト云フコトニナリマシテ、今後桑園ヲ植エサセヨウト致シマシ

テモ、ナカ／＼四年五年ノ先ノ見透シガド
ウナルカ、養蠶家トシテモナカ／＼一人前
ニナツタ時分ニ又要ラクナルノデヤナカラ
ウカト云ツタヤウナ事柄、是ハ一旦引拔イタ
桑園ヲ又元ヘ戻セト云ツタヤウナコトヲ言ッ
テモ私ハ困難ダト思ヒマス、從ヒマシテ蠶
絲ノ政策ト致シマシテハ、餘程慎重ニ考ヘ
マシテ、最後ノ手段トシテ若シモ減少スル
必要ガアルナラバ、蠶絲ノ政策トシテハ桑
ヲ拔カセルノハ最後ノ手段ダト云フ風ニ私
ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、併シ今度ノ
ハ已ムヲ得ナイ食糧ノ關係カラ致シマシテ、
已ムヲ得ナイ轉作ト云フコトニナツテ居ル
ノデゴザイマスコトヲ御了承ヲ願ヒタイト
思ヒマス

ケスト云フコトハ決シテアリマセス、必ズ
是ハ貿易業者ノ活躍スル大ナル戦場トシテ
殘サレテ居ルト云フコトトナツテ、貿易業者
ハ其ノ改善指導ニ努力スルノミナラズ、其
ノ宣傳用途ナドニモ今日ハ努力シテ居リマ
ス、貿易會社、販賣會社ト云フモノノ努力
ハ今日ハナカ／＼唯品物ヲ扱フト云フ程度
デハナイノデアリマス、唯品物ヲ扱フト云
フコトニナルト、統制「ビデネス」ト云フ言葉
モ出來テ居ルガ、サウ云フモノヲ一方ニ眺
メ、サウシテ一方ニ蠶絲業ト云フモノハ、
大體支那ガ師匠デアッタト云フコトカラ考
ヘタリ、割合ニ簡易ナ工業デアルト云フ點
カラ考ヘマシテ、而モ之ヲ共榮園ノ中ニ入
レテ行カウト云フ時ニ、サウシテ此ノ法案
ヲ讀ミマス時ニ、私共ハ將來ニ非常ニ大キ
ナ危懼ヲ懷クノデアリマス、只今ノ御答ニ
依リマス云フト、此ノ統制法案ノ趣旨ハ
支那ニモ全部徹底サスモノデアアル、斯ウ
云フ御答辯ノヤウデアリマシタ、衆議院デ
モ大體サウ云フ風ニ御答ニナツテ居ルヤウ
ニ拜聴スルノデアリマスガ、果シテ可能デア
リマセウカドウカ、其ノ際ニハナカ／＼非
常ナ大キナ資本ヲ要スルノミナラズ大體斯
ウ云フ統制ノ完全ニ行クト云フコトハ需要
ガ生産ヲ超過シタ場合ト、是ハ私ダケノ考
デ、理論通りデハナイケレドモ、成功スル
コトハ、多ク消費ヨリ需要ガ多い場合ニ、
統制經濟ハ成功スルノデアリマスガ、併シ
「オーバープロダクト」シタ場合ニハ困難ガ
起ツテ來ル、現ニ其ノ例ガアリマス、ソレハ
必ズシモ計畫經濟デモ統制經濟デモアリマ
セヌケレドモ、「ブラジル」デハ「コーヒー」
ヲ燒イタリ、輸出稅ヲ課シタリシテ、處分
シタト云フヤウナ例ガマザ／＼ト其處ニア

リマスシ、此ノ統制ガ自分ノ力ヲ省ミテ及
ブ範圍ナラバ宜イケレドモ、此ノ統制ノ及
ブ力ノ範圍ガ、自分ヲ省ミテ力一パイ、若
シクハ及バナイ程度ニ來タ時分ニハ、其處
ニ大キナ破綻ニナルト思フノデアリマス、
今ノ輸出狀況カラ見マシタラ、少シモ心配
ハアリマセス、アノ位ノモノヲドウカシテ
行カウト云フコトハ少シモ心配ハナイト思
ヒマス、日本ガ聖戰ノ大目的ガ相當ニ達成
サレル場合ニ、日本ノ生絲對策ト云フモノ
ハ又復大キナ轉換期ニ直面スルノデハナイ
カ、其ノ一步トシテ之ヲ見マス、轉換期
ノ第一步ヲ歩ンデ居ルモノトシテ見マス、
我々モ大イニ考慮ノ餘地ガアルト思ヒマス、
少シ意見ニ互リマスケレドモ、政府ノ見解
ヲ伺ヒタイ

ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ要スルニ、
此ノ蠶絲ガ今日ノ國際情勢カラ見マシテ、
非常ナ全面的ノ脅威ヲ受ケテ居ルヤウナ事
態ニナツテ居リマス、從ヒマシテ此ノ各業者
ヲ安心サセテ、サウシテ事業ニ從事サセル
ト云フ所ニ寧ロ統制ト申シマスガ、サウ云
フ所ニ覬ヒガアルノデアリマス、物ガ足り
ナイノデ、之ヲ分ケテヤルヤウニ一手買取
ラスル、一手ノ販賣ラスル、サウシテ公平
ニ消費者ニ分ケルト云ツタヨリハ、生産ノ狀
態ヲ安固ニシヨウ、要スルニ今日迄ハ日本
ノ蠶絲業ハ輸出絲ニ體ノ重ミヲ全部委カセ
テ居ッタヤウナ形ニナツテ居リマス、從ヒマ
シテ「アメリカ」デ何カ事ガ起キルト、絲ノ
前途ニ付テ何カ心配ナコトガ僅カデモアル
ト云フコトニナリマス、横濱、神戸ノ相
場ト云フモノガ非常ナ動搖ヲ起ス、其ノ動
搖ガ業界三千ノ蠶絲業者全體ニ皆暗イ影ヲ
落シ狼狽サセル、ソレガ直チニ二百萬戸ノ
蠶絲家ニ波及シマシテ、是モ動搖スル、更
ニ蠶種屋カラ申シマス、種代ガ十分ニ取
レナイト云ツタヤウナコトニナリマシテ、非
常ニ海外トノ問題ノ如何ニ依リマシテ、蠶
絲界ノ隅カラ隅迄直チニ混亂動搖ヲ惹起ス
狀態ニ來テ居ルノデアリマス、是ハ非常ニ
今日ノヤウナ緊迫シタ情勢ニ於キマシテ、
蠶絲業ト云フモノハ日夜不安ノ心持デ居ラ
ナケレバナラヌヤウナ狀態デアリマス、デ、
是カラ一ツ出來ル限リ各業者ヲ隔離サセテ、
安心ノ出來ルヤウニシテ行キタイ、斯ウ云
フ所ガ此ノ統制ノ狙ヒ所デゴザイマス、從
ヒマシテ輸出生絲ノ相場ガ、上ル下ルト云
フコトニ因ツテ、此ノ蠶絲業ニ關係致シマ
ス種屋迄直チニ波及スルヤウナ、斯ウ云フ
狀態モ漸次隔離シテ行キマシテ、種屋ハ種

○野村德七君 今支那ノ問題ガアリマシタ
ノデ私商工省ノ方ニ伺ヒタイト思ッタノデ
スケレドモ、此ノ際質問サシテ戴キマスガ、
私ハ斯ウ云フ風ニ統制法案ガ出來マス、將
來支那ノ蠶絲ノ發達ト云フコトニ對シテハ
一層重大ナ考慮ヲ必要ト思フノデス、大體
蠶絲ト云フモノハ一體何處ガ先輩カト云フ
コトニナルト、無論支那ガ先輩ト思フ、唯
色々ナ技術ニ於テ遅レタ、併シ大體農業ヲ
基本ニシテ半加工サレテ行クモノデスカ
ラ、指導ハ割合ニ樂ナモノデアツテ、日本生
絲ノ標準迄持ッテ來ルノハソソナニ苦心ヲ
要シナイノデヤナイカト思フ、而モ今後北
支以南全部共榮園ト云フコトニナリマシテ、
桑ノ栽培ニ最モ良イ土地ガ尠カラズアル、
支那ニ向ッテ今宜撫班ガナサレテ居ルヤウ
ナ養蠶ノ獎勵モアツタリシテ參リマス、ト
云フト、此ノ支那ノ蠶絲業ト云フモノハ、恐
ラク今後數年ノ間ニ非常ナ發達スルモノ
デハナイカ、之ニ對シテ貿易業者ハ目ヲ著

ケスト云フコトハ決シテアリマセス、必ズ
是ハ貿易業者ノ活躍スル大ナル戦場トシテ
殘サレテ居ルト云フコトトナツテ、貿易業者
ハ其ノ改善指導ニ努力スルノミナラズ、其
ノ宣傳用途ナドニモ今日ハ努力シテ居リマ
ス、貿易會社、販賣會社ト云フモノノ努力
ハ今日ハナカ／＼唯品物ヲ扱フト云フ程度
デハナイノデアリマス、唯品物ヲ扱フト云
フコトニナルト、統制「ビデネス」ト云フ言葉
モ出來テ居ルガ、サウ云フモノヲ一方ニ眺
メ、サウシテ一方ニ蠶絲業ト云フモノハ、
大體支那ガ師匠デアッタト云フコトカラ考
ヘタリ、割合ニ簡易ナ工業デアルト云フ點
カラ考ヘマシテ、而モ之ヲ共榮園ノ中ニ入
レテ行カウト云フ時ニ、サウシテ此ノ法案
ヲ讀ミマス時ニ、私共ハ將來ニ非常ニ大キ
ナ危懼ヲ懷クノデアリマス、只今ノ御答ニ
依リマス云フト、此ノ統制法案ノ趣旨ハ
支那ニモ全部徹底サスモノデアアル、斯ウ
云フ御答辯ノヤウデアリマシタ、衆議院デ
モ大體サウ云フ風ニ御答ニナツテ居ルヤウ
ニ拜聴スルノデアリマスガ、果シテ可能デア
リマセウカドウカ、其ノ際ニハナカ／＼非
常ナ大キナ資本ヲ要スルノミナラズ大體斯
ウ云フ統制ノ完全ニ行クト云フコトハ需要
ガ生産ヲ超過シタ場合ト、是ハ私ダケノ考
デ、理論通りデハナイケレドモ、成功スル
コトハ、多ク消費ヨリ需要ガ多い場合ニ、
統制經濟ハ成功スルノデアリマスガ、併シ
「オーバープロダクト」シタ場合ニハ困難ガ
起ツテ來ル、現ニ其ノ例ガアリマス、ソレハ
必ズシモ計畫經濟デモ統制經濟デモアリマ
セヌケレドモ、「ブラジル」デハ「コーヒー」
ヲ燒イタリ、輸出稅ヲ課シタリシテ、處分
シタト云フヤウナ例ガマザ／＼ト其處ニア

○政府委員(吉田清二君) 統制ハ需要ガ多
クテ、供給ガ少イ場合ニ多ク行ハレテ然ル
ベキダト云フ御話デゴザイマスガ、全ク私
共モ同様ノ感じヲ持ッテ居ルノデアリマ
ス、ソレハ品物ガ少イ、非常ニ需要ガ多
イ、ソレデ自然ノ儘ニ放置致シテ置イタノ
デハ、金ノアル方面ニ値段構ハズニ物ガ
集ツテシマツテ、金ノナイ方面デハ物が得
ラレスト云フヤウニ、物ノ配給ガ不均衡ニ
ナツテ行ク處ガアリマスカラ、其ノ配給、
供給ヲ公正ニスルト云フ見地カラ、多ク斯
様ナ場合ニハサウ云フ趣旨デ統制ガ行
ハレル場合モ多イダラウト思フノデアリ
マス、又行ハルベキモノダト思フノデアリ
マスガ、此ハ蠶絲ノ方ノ統制ハ其ノ點カラ
申シマス、ト全ク御説ノヤウナ逆ノヤウナ形
ニナツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ是ハ
今申シマシタヤウナ趣旨カラ、ト申シマス
ヨリハ、是ハ少シ別ナ所ニ趣意ガアルト考

ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ要スルニ、
此ノ蠶絲ガ今日ノ國際情勢カラ見マシテ、
非常ナ全面的ノ脅威ヲ受ケテ居ルヤウナ事
態ニナツテ居リマス、從ヒマシテ此ノ各業者
ヲ安心サセテ、サウシテ事業ニ從事サセル
ト云フ所ニ寧ロ統制ト申シマスガ、サウ云
フ所ニ覬ヒガアルノデアリマス、物ガ足り
ナイノデ、之ヲ分ケテヤルヤウニ一手買取
ラスル、一手ノ販賣ラスル、サウシテ公平
ニ消費者ニ分ケルト云ツタヨリハ、生産ノ狀
態ヲ安固ニシヨウ、要スルニ今日迄ハ日本
ノ蠶絲業ハ輸出絲ニ體ノ重ミヲ全部委カセ
テ居ッタヤウナ形ニナツテ居リマス、從ヒマ
シテ「アメリカ」デ何カ事ガ起キルト、絲ノ
前途ニ付テ何カ心配ナコトガ僅カデモアル
ト云フコトニナリマス、横濱、神戸ノ相
場ト云フモノガ非常ナ動搖ヲ起ス、其ノ動
搖ガ業界三千ノ蠶絲業者全體ニ皆暗イ影ヲ
落シ狼狽サセル、ソレガ直チニ二百萬戸ノ
蠶絲家ニ波及シマシテ、是モ動搖スル、更
ニ蠶種屋カラ申シマス、種代ガ十分ニ取
レナイト云ツタヤウナコトニナリマシテ、非
常ニ海外トノ問題ノ如何ニ依リマシテ、蠶
絲界ノ隅カラ隅迄直チニ混亂動搖ヲ惹起ス
狀態ニ來テ居ルノデアリマス、是ハ非常ニ
今日ノヤウナ緊迫シタ情勢ニ於キマシテ、
蠶絲業ト云フモノハ日夜不安ノ心持デ居ラ
ナケレバナラヌヤウナ狀態デアリマス、デ、
是カラ一ツ出來ル限リ各業者ヲ隔離サセテ、
安心ノ出來ルヤウニシテ行キタイ、斯ウ云
フ所ガ此ノ統制ノ狙ヒ所デゴザイマス、從
ヒマシテ輸出生絲ノ相場ガ、上ル下ルト云
フコトニ因ツテ、此ノ蠶絲業ニ關係致シマ
ス種屋迄直チニ波及スルヤウナ、斯ウ云フ
狀態モ漸次隔離シテ行キマシテ、種屋ハ種

屋デ會社ヲ相手ニ致シマシテ註文ヲ受ケテ、
チヤント豫メ決ツタ値デ造ツタモノハ、必ズ
指定サレタ數量ダケヲ造レバ、豫メ決ツタ値
デ會社ハ必ズ買ツテ呉レル、アメリカガ絲
ヲ買ハウガ買フマイガ、自分ガ造ツタ種ヲ兎
ニ角會社デ一手ニ買ツテ呉レルノダカラ、モ
ウ其ノ心配ハナイト、斯ウ云フコトニスル
コト、養蠶家ハ養蠶家デ、繭ヲ計畫ヲシテ
造ツタダケノモノハ兎モ角、今年ハ兎モ角、造
タモノハ必ズ此ノ會社ニ一定ノ豫メ決メラレ
タ値段デ賣レル、アメリカ「ト事ガ起キテモ、
養蠶家ハソシナコトニ、繭ガ賣レルダラウ
カ賣レスダラウカト云フヤウナコトノ心配
ナシニ、繭ヲ造ツタ然ルベシ、製絲家ト致シ
マシテモ、大體國內ノ生絲ヲ造ルコトヲ豫
メ決メラレテ居ル製絲家ニ付キマシテハ、豫
メ決メタ値デ兎モ角一應會社デ買ツテ呉レ
ル、アメリカ「ト事ガ起キテモチットモ……

來年、再來年ノ先ヘ行ケバ或ハ是ハドウ
云フコトニナルカモ分ラヌガ、兎モ角今ヤ
テ居ル仕事ニハ心配ハナインダ、斯ウ云フ
ヤウニ、海外トノ緊迫狀態カラ日夜不安狀
態ニ、隅々ノ業者迄モ不安狀態ニナツテ居ル
コトヲ隔離シタイ、ソレデ此ノ會社ハ從ツテ
是等ノ生産物ニ付テノ買相手ニ、總テノ業
者ノ間ヘ入ッテ防波堤ミタヤウナ形ニナリ
マシテ、サウシテ少クトモ其ノ間ハソレ
ゾレノ生産費ヲ基準トシテ、適正利潤ヲ入
レタ値ト云フモノヲ確保シテヤツテ行キ
マシテ、從來ノヤウニ非常ニ値上リデボロ
イ儲ケヲスルト云フコトハナイガ、少ク
トモマア安心シテ飯ヲ食ベテ行ケルト云
フ位ナ所デ、安心シテ仕事ガ出來ルト云
フ仕組ヲ立テタイ、斯ウ云フノガ此ノ統
制ノ狙ヒ所デアアルコトヲ一ツ御了承願ヒ

タイノデアリマス、ソレカラ支那絲トノ關
係ノ心配ノ問題ハ、御説ノ通りナンデ
アリマシテ、是ハ將來ヲ考ヘスマルト云フ
ト、非常ニ蠶絲業トシテハ色々心配ヲシナ
ケレバナラヌ問題ト思ヒマス、ソレデ自然
ノ儘ニ放置シテ置クベキデハナイ、從ヒマ
シテ色々ト先程申シマシタヤウニ共存共榮
ト申シマスルカ、物資ノ調整ヲ……蠶絲業
ノ調整ヲ、今後共有ラウル機會ニ、有ラ
ル方法ヲ講ジマシテヤツテ參リマシテ、支那
ノ蠶絲業ガ遽ニ勃興シテ日本ノ蠶絲業ニ對
シテ非常ナ打撃ニナルト云フヤウナコトニ
ナラヌヤウニ、色々苦心ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、是ハ色々考ヘテ居ルコトハア
リマスルガ、露骨ニ申シマスルト如何ト思
フヤウナコトモアリマスルガ、兎モ角有ラ
ウル機會ニ、有ラウル方法ヲ以テ共存共榮
ノ考ヘ方デ調整ヲ圖ツテ行キタイ、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居ルコトダケヲ申上ゲテ置ク次
第デアリマス

○有吉忠一君 チョット御伺ヒ致シマス、一
般ノ蠶絲行政ニ關スル質問ハ、尙今日バカ
リデナク今後モ御續行ニナリマスカ
○委員長(子爵八條隆正君) マダ御質問ガ
アレバ續行致シマス

○有吉忠一君 ソレデヤモウ時間モ迫ッテ
來マシタカラ、此ノ次ニ致シマス

○野村德七君 私ハ一向素人デ生絲ノコト
ハ分リマセヌデアリマスガ、今日大分資
料ヲ戴キマシタガ、戴ケルモノナラ、「セリ
シン」定著ト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、
所謂此ノ混織ニ織ル現品デスネ、サウ云フ
ヤウナモノガ、蠶絲科學研究所デスカ、又
御關係ノ御支配下ニアル研究所トカ、何カ

我々ニ見セテ戴クモノガアリマスレバ、サ
ウ云フモノカラ所謂今後内地ニ特別ノ繭ヲ
造ツテ、ソレニ振向ケテ行カウト云フ方針デ
スナ、其ノ現レ、只今ドンナ研究ノ過程ニ
アルカト云フヤウナコトヲ、實際ニ於テ拜
見スルコトガ出來マスレバ、大變私共後學
ニモナリマスシ、參考ニモナルト思ヒマス
ガ、サウ云フ參考資料ガ少々モ宜シイデ
スガ、見セテ戴クコトガ出來レバ仕合せト
思フノデスガ……

○今井五介君 私チョット耳ヲ患テ居ッテ、
本日ノ皆サンノ應答ノ御話ガハッキリシナ
イ所ガアリマスガ、今日ノ速記ハ次ノ委員
會ニ戴ケルヤウニ至急御願ヒシタイト思ッ
テ居リマスガ……

○委員長(子爵八條隆正君) 其ノ御希望ハ
事務局ノ方ヘ傳ヘマスガ、何分速記モ相當
混ミ合ッテ居ルコトダラウト思フノデアリ
マシテ、果シテ御希望通りウマイ工合ニ出
來マスカドウカ、餘程困難ナコトデヤナイ
カト想像致シマスガ、出來ル限リ早く印刷シ
テ貰フコトニ事務局ノ方ヘ通ジテ置キマス

○政府委員(吉田清二君) 野村委員ノ仰セ
ニナリマシタノハ、現物ヲ見タイト云フノ
デゴザイマスガ、ソレハ御取計ラヒ致シタイ
ト思ヒマス、持ッテ參リマシテ御目ニ掛ケ
タイト思ヒマス

○野村德七君 甚ダ御手数戴ゴザイマスガ、
何故サウ云フ御願ヲシマスカト申シマス、
所謂短纖維ニ仕向ケラレテ混織サレテ行ク
繭ハ、幾ラカ何ト言ヒマスカ繭ノ性質ガ違
フ、違フモノデ宜イノダ、併シ其ノ繭ノ生
産費ハ餘リ安クナイ繭デアアル、ト云フヤウ
ナコトヲ伺ヒマスノデ、サウ云フモノヲ擱

ヘテ、實際ノモノヲ見テ御説明ヲ伺フト、
我々モ大變參考ニナリマス、ノミナラズ支
那絲ヲ指導シテ行クニモ、餘リ支那絲ヲ優
良ニセズトモ、支那絲ソレ自體ガソシナモノ
ニ向イテ行ノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ
考モチョットシマスノデ、甚ダ御迷惑ナガラ、
現品ヲ委員會ニ御示願フト云フコトハナ
イコトダラウト思ヒマスケレドモ、……

○委員長(子爵八條隆正君) 尙申上ゲテ置
キマスガ、參考資料ヲ大分配付サレマシ
タガ、未ダ委員諸君ニ於キマシテ色々御希
望ガアリマシタナラバ、御思ヒ付ノ材料ヲ
此ノ際御申出下サイラスト、丁度明日ハ日曜
デモアリマスシ、其ノ間ニ作ッテ戴クト大變
好都合カト思ヒマスカラ、若シ何カ御希望
ノ材料ヲ御要求ニナリマスナラバ、御申出
ヲ願ツタラ宜カラウト思ヒマス、ソレデハ今
日ハ此ノ程度ニ止メテ、次會ハ明後二十四
日午前十時ニ開會ヲ致スコトニ致シマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時五十九分散會
出席者左ノ如シ

委員長 子爵八條 隆正君
副委員長 男爵稻田 昌植君
委員 侯爵四條 隆德君
伯爵酒井 忠正君
子爵米津 政賢君
子爵柳澤 光治君
有吉 忠一君
横山 助成君
男爵三須 精一君
今井 五介君
瀧川 儀作君

野村 徳七君
吉村友之進君
大澤徳太郎君
片倉兼太郎君
大西虎之介君
國務大臣
農林大臣 石黒 忠篤君
政府委員
農林省蠶絲局長 吉田 清二君

昭和十六年二月二十二日印刷

昭和十六年二月二十三日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局